

著 書

1. Physical Therapy for Shoulder Disorders -肩関節疾患と理学療法- 第2版（共著），アイペック, 2017.
2. 脳血管障害片麻痺に対する理学療法評価 改訂第2版（共著），神陵文庫, 2017.
3. Crosslink 理学療法学テキスト 神経理学療法学I（共著），メジカルビュー社, 2019.
4. Self Training Based on Motion Analysis -動作分析から考える自主トレーニング-（共著）編集工房ソシエタス，2021.
5. 脳卒中運動学 運動と医学の出版社（共著），2021.
6. 神経疾患を学ぶー評価から理学療法の実践までー（共著）編集工房ソシエタス，2022.
7. 肩を学ぶー評価から理学療法の実践までー（共著）．編集工房ソシエタス，2023.
8. Physical Therapy from Case Reports -症例から学ぶ理学療法（編集・共著）-．編集工房ソシエタス，2023.
9. 体幹を学ぶー評価から理学療法の実践までー．編集工房ソシエタス，2024.

論 文

1. 楠 貴光・他: 洗濯物干し動作において右肩関節前面に疼痛を認めた右上腕骨近位部骨折後患者に対する理学療法. 関西理学 13: 111-120, 2013.
2. 楠 貴光・他: 肩関節水平屈曲角度変化が大胸筋の筋電図積分値に及ぼす影響. 関西理学 15: 45-48, 2015.
3. 楠 貴光・他: 両側および一側上肢前方挙上保持角度変化が体幹背面筋の活動と脊柱運動に及ぼす影響について. 理学療法科学 33: 101-107, 2018.
4. 楠 貴光・他: 上腕三頭筋長頭の電気刺激による筋収縮が肩甲骨肢位に及ぼす影響. 理学療法科学 33: 77-81, 2018.
5. 楠 貴光: 上肢のリーチと挙上動作の違いは上肢前方挙上 90°位保持時の肩甲骨運動と肩甲骨周囲筋の活動に相違を与える. 関西医療大学大学院修士論文集 2017: 49-68, 2018.
6. 楠 貴光: 運動過程の違いによる肩甲骨機能の変化. スポーツメディスン 205: 8-13, 2018.
7. 楠 貴光・他: 上肢のリーチ動作の評価と運動療法. 関西理学 18: 39-46, 2018.
8. 楠 貴光・他: 上肢の外転挙上が困難な症例に対する自主トレーニングの考え方. 関西理学 20: 7-14, 2020.
9. 楠 貴光・他: 腸骨筋に対する表面筋電図測定時の電極位置に関する検討 - 超音波画像診断装置を用いた検討 - . 関西理学 22: 67-74, 2022.
10. 楠 貴光・他: 腸骨筋と内腹斜筋の表面筋電図計測時の電極位置に関する検討と臨床応用. 関西理学 23: 38-43, 2023.
11. 楠 貴光・他: 骨盤内に筋線維を有する内腹斜筋が表層に位置する部位の調査. 理学療法科学 38: 461-465, 2023.
12. 楠 貴光・他: 異なる関節運動時の広背筋椎骨部線維, 腸骨部線維, 肋骨部線維の筋電図

積分値相対値変化. 理学療法科学 39: 1-5, 2024.

学会発表

1. 洗濯物干し動作において右肩関節前面に疼痛を認めた右上腕骨近位部骨折後患者に対する理学療法 第 12 関西理学療法学会症例研究学術大会 (2012, 兵庫)
2. 肩関節水平屈曲角度変化が大胸筋の筋電図積分値相対値に及ぼす影響 第 54 回近畿理学療法学術大会 (2014, 大阪)
3. 上腕三頭筋長頭の電気刺激による筋収縮が肩甲骨肢位に及ぼす影響 第 12 回肩の運動機能研究会 (2015, 宮城)
4. 両側および一側上肢前方挙上保持角度変化が体幹背面筋の活動および脊柱運動に及ぼす影響について 第 3 回日本運動器理学療法学会学術集会 (2016, 石川)
5. 立位および座位での両側上肢前方挙上保持角度変化が体幹背面筋の活動と脊柱運動に及ぼす影響について 第 52 回日本理学療法学会学術集会, 第 5 回日本基礎理学療法学会学術集会 (2017, 千葉)
6. 上肢の挙上とリーチの違いによる前方挙上時の肩甲骨周囲筋の活動 第 14 回肩の運動機能研究会 (2017, 東京)
7. 座位での一側上肢前方挙上保持時の広背筋椎骨部、腸骨部線維の筋活動 第 55 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (2018, 福岡)
8. 右上肢の前方挙上動作が困難な事により洗濯物干し動作の遂行に難渋した頸部脊柱管狭窄症の一症例 第 54 回京都病院学会 (2019, 京都)
9. 右上肢前方挙上動作が困難であった頸部脊柱管狭窄症患者への理学療法と効果的な自主トレーニングの検討 第 3 回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (2019, 静岡)
10. 上肢運動の違いによる広背筋の椎骨部、腸骨部、肋骨部線維の筋電図積分値相対値変化について 第 58 回日本リハビリテーション医学会学術集会 (2021, 京都)
11. 腸腰筋が表層に描出される部位について - 超音波画像診断装置での検討 - 第 27 回日本基礎理学療法学大会学術大会 (2022, 大阪)
12. 腸骨筋に対する表面筋電図測定時の電極位置に関する検討—超音波画像診断装置を用いた検討— 第 22 回関西理学療法学会症例研究学術大会 (2022, 兵庫)
13. 飲食店での商品提供時に左手を前方リーチした状態で握力発揮が困難であった左上腕骨外側上顆骨折術後の症例に対する理学療法 第 34 回京都府理学療法学術大会 (2024, 京都)

研究業績

関西理学療法学会 令和4年度助成研究

「腸骨筋に対する表面筋電図測定時の電極位置に関する検討—超音波画像診断装置を用いた検討—」

研究代表者 楠 貴光